



まーと新聞 Makoto Journal



暑い日に雪の話

高速道路の防音壁について

高島 高速道路の防音壁について進捗状況をお聞かせください。

答 弁 防音壁の設置範囲や高さを検討するための設計業務に着手したと中日本高速道路株式会社から伺っております。

高島 それでは、今後のスケジュールについてお聞かせください。

大雪による交通事故の件数について

高島 2月の大雪による交通事故件数についてお聞かせください。

答 弁 大雪警報が発表され、災害対策本部を設置しました。降雪が通勤・通学の時間帯に重なることから、防災安全課を中心に準備態勢を取り、情報収集に当たりました。情報提供や注意喚起も発信しました。幸い大雪による救急搬送はありませんでしたが、スリップなどにより交通事故が発生し、物損事故20件、人身事故1件、物損事故7件で、小・中学校生徒の交通事故はありませんでした。

高島 通学路は雪が降ってどうなったのかお聞かせください。

答 弁 大雪時は、一部の小・中学校が学校長の判断により授業開始を1時間から2時間程度遅らせ、安全確保に努めました。

高島 道は除雪をしても積もっていく状況でしたが、融雪剤を初日の雪で使って、次の日にもまって、助かるなど感じました。しかし、通学路など歩道にはできないです。学校は遅らせるか休めばいいと思いますが、市民生活の対策についてお聞かせください。

国道等の予防的通行止めについて

高島 雪や台風になると中日本高速は予防的に止めがあります。すると、市道に流れ込んでくる。大型トラックがはまり込んだり、坂が登れずに迂回したり、1号線からも迂回したり。

中日本高速が止めたことにより、市道に流れてくる。市は抗議するべきだと思いますが、見解をお聞かせください。

第二十七号 | 令和7年3月発行
高島 今和7年3月
高島 壱山市議会一般質問
高島 高島まこと
高島 高島まこと
※この新聞は政務活動費は使っておりません。

答 弁 施工方法などが検討できた段階で関係者に説明をし、令和7年度の工事着手に向け進めていけるところです。

高島 地域住民、関係者が理解できるよう進めてくださいとNEXCO中日本に伝えてください。



答 弁 大雪の情報提供を第一に考え、気象予測や実況に応じてありますので、事前に注意・啓発をし、昨今は予防的通行規制の情報を発信しています。また、イベントの中止もありました。コミュニケーションバスの運行についても適宜発信しました。早めの情報提供や注意喚起を行い、市民の安全確保に努めます。

高島 建設部長が挙手されましたのでお願いします。

答 弁 市道の雪氷対策は、道路の凍結時・積雪による交通の支障を解消するため交通量の多い市道を。降雪が予想される場合は路面状況の確認のため巡回を行い融雪剤散布や機械除雪を行っています。除雪範囲も広く迅速な対応が必要であることから、エリアを分けて対応しています。

高島 確かに迅速に対応していると思います。雪が降っているのにノーマルタイヤで走って、止まって渋滞を起こす人がいますので、徹底的に周知していただきたいです。

答弁 指置を取ったことで、一部市道に流れましたが、こういう判断も一定数あるのかなと感じました。予防的通行止めがどうあるべきなのかは様々な検討と議論がなされると思っています。

融雪剤の在庫について

高島 天気の都合でどのくらい必要だろうとは言えませんが、現在の融雪剤の在庫についてお聞かせください。

答弁 本年2月に使用した融雪剤の数量は約1,300袋となり、現在の在庫は650袋です。

新庁舎の整備について

高島 新庁舎の整備を延伸した理由を簡潔にお聞かせください。

答弁 将来にわたる財政的負担を可能な限り軽減する整備スケジュール等について検討を重ね、新庁舎整備の供用開始、開庁を延期しました。理由は市民生活への影響が大きく、早期の整備により現有施設のランニングコスト等で20億円を超える経費縮減が見込める新ごみ処理施設の整備を最優先し、開庁時期を6年程度延伸することになりました。新庁舎の基金を

延伸することにより総額で30億円以上積み立てることが可能となり、将来負担の軽減を図ります。

高島 2月の市長選挙の時に、市民の選択肢として6年延ばして30億円貯めるというのが分かればよかったです。当選してから6年延ばすということは、いつから考えていたのでしょうか。市民に周知をすることは、議会も含めてできるだけ早く言ってほしいです。

歩車分離式信号機の設置について

高島 三十三銀行前の歩車分離式信号機の進捗をお聞かせください。

答弁 川合町地内の歩車分離式信号機の設置について、通学路要望として点検を行い、該箇所の信号機の歩車分離運用は国道306号への影響が大きく、渋滞の原因となり、周辺の信号交差点において国道への車両の流入が困難になることから、変更は難しいです。引き続き、周辺の交通状況を注視し、交通安全指導や見守り活動などの対策を継続します。

高島 渋滞して交通の便が悪くなると。子どもの命よりも車の渋滞のほうが大切と警察がそう言ったのですか。

答弁 交通安全プログラムに基づく点検を行った上で回答です。

高島 警察がそんなことを言うなんて、考えられないです。もう死亡事故ゼロとか言わないでください。結局そういうことでしよう、子どもの命よりも渋滞のほうが大切という……。

(「そんなことは言うてないよ」の声あり)

言ってるだろう、言ったのと同じでしょう。

高島 質問者に対してやじを飛ばすなんて、前代未聞だと驚愕しております。



暑さのせいで記憶も溶けそうですが、思い出るのはネクスコ中日本が二月に実施した、予防的通行止め。あれは酷かった。市内では高速道路から放出した大型トラックが脱輪したり、田んぼに落ちて立ち往生したりと大混亂。そんな中で亀山市民が事故や病気で緊急搬送、なんて状況になつたら命に係わりますよ。僕はネクスコ中日本が運行止めではなく、雪国に倣つて除雪体制を強固にするなど、道路を生業とする企業としての責任を追及し、行政としてそれを訴えるべきじゃないかと、強く憤りました。一般道は僕らにとつて“命の道”ですからね。